



LIONS QUEST

ライフスキル教育プログラム

笑顔があふれる
クラスをつくりたい

ライオンズクエストはそんな先生の願いを叶えます

将来の社会を支える子どもたちのために何ができるのか
その答えは、このプログラムの中にあります
子どもたちを支える教育の輪、その実現への道を切り開きます



LIONS QUEST



A Program of Lions
Clubs International
Foundation

小学生版

Skills for Growing

先生の実顔 子どもたちの実顔

トラブルを自分たちで解決できる力

理念・考え方

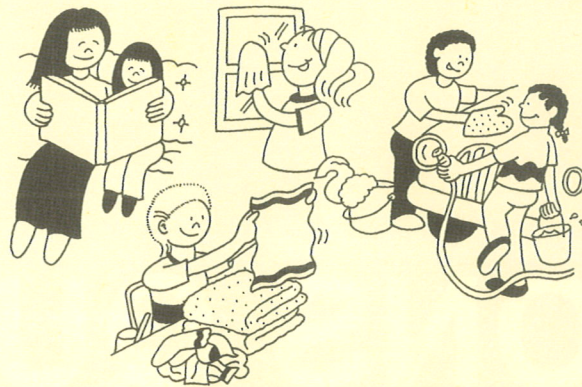
家庭と学校が手を結び、子どもたちを育てる

4つのテーマ

- ① 自己規律
- ② 責任感
- ③ 意思決定
- ④ 他者の尊重

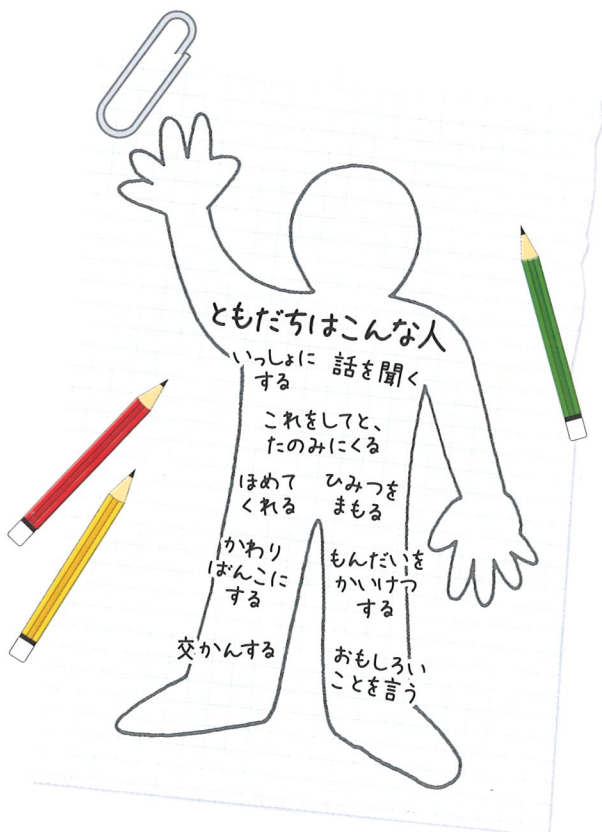
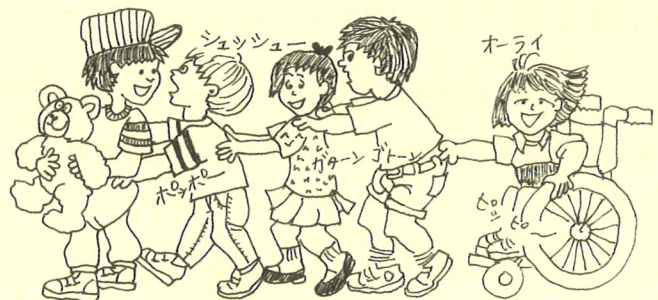
主な対象

小学校1～5年生



小学生版の特徴

- その1 楽しくライフスキルが身につく!
- その2 基礎からライフスキルが学べる!
- その3 家庭と学校を結ぶワークブック!
- その4 さまざまな教科で活用できる!



思春期版

Skills for Adolescence

学びたいこと 教えたいこと

それは日々の困難を乗り越えて生きる力



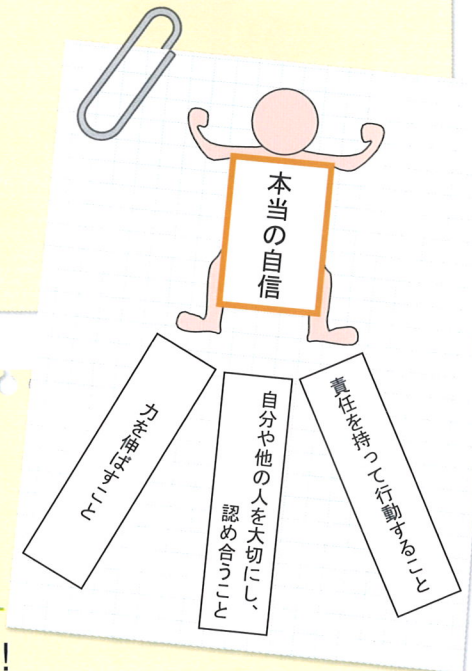
理念・考え方

若者につけたい9つのスキル

- ① 自己規律・責任感・自信の形成
- ② 効果的なコミュニケーション
- ③ 感情の上手な表現
- ④ 家族や友人とのよい関係の強化
- ⑤ 問題解決や好ましい意思決定
- ⑥ 仲間からの悪い誘いの拒絶
- ⑦ 批判的思考力
- ⑧ 目標設定と計画的な実施
- ⑨ 積極的な社会参画と他の人のために活動すること

主な対象

小学校高学年～中学生・高校生



思春期版の特徴

- その1 よいクラスづくりを通してライフスキルを学ぶ！
- その2 感情を受けとめ、意欲的に行動する力を育てる！
- その3 積極的に社会参画をする力を育てる！
- その4 豊かなコミュニケーション能力と他者への思いやりを育てる！

思春期版授業内容

単元1 十代のみんな、思春期へGO!

単元2 本当の自信とコミュニケーションスキルの形成

単元3 心の成長と感情のコントロール

単元4 友人関係の改善

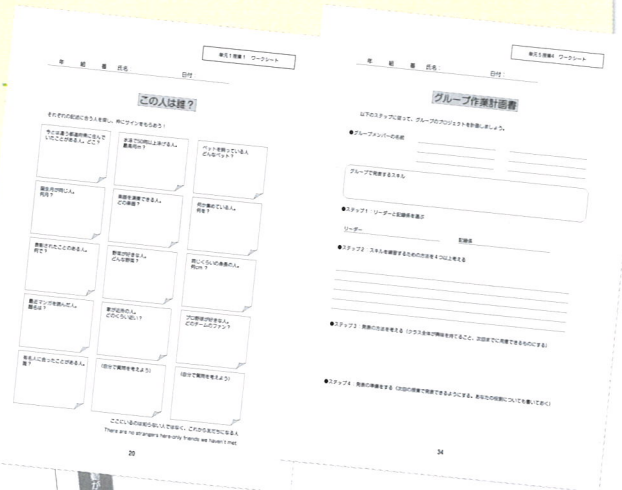
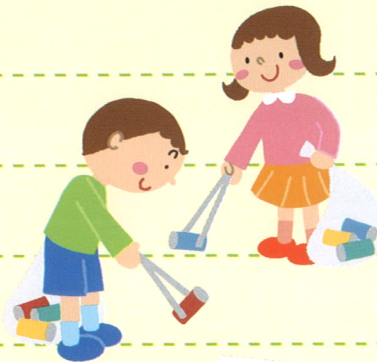
単元5 家族の絆の強化

単元6 健康への道を選ぼう

単元7 人生の道のり

まとめ 可能性の追求

サービスラーニング



単元3 心の成長と感情のコントロール

授業-2 行動が他者に与える影響

この授業では

- 【心のボット】の図は、私たちの心の中の感情にどのような好ましい影響、好ましくない影響を与えるものについて、説明している。この理解によって、自分の行動が他者に与える影響について考える必要性が理解できる。また感情の波動が自分たちの行動に与える影響についての理解を高める。

ねらい

- 自分の行動が他者の感情にどのような影響を与えるか、反別に自分の感情が他者の感情にどのような影響を受けているかに気づく。

今日の授業

- 心やさしい言葉や行動は、すこいれを持っている。

教材と準備

- ペットボトル2つ
- 小石、ピンポン玉など、小さくて軽いもの (数個)
- 資料【心の中のボットと喜びと悲しみ】
- ワークシート【心の中のボット物語】

板書計画

今日の授業 心やさしい言葉や行動は、すこいれを持っている。

上蓋をカットしたペットボトル

【プラス】ボット

【マイナス】ボット

学習内容

※【今日の目標/質問】

※【心の中のボットと喜びと悲しみ】

※【ワークシート】



●【概要書】(ワークシート他データCD付)
 ●【保護者会運営手引き書】、【保護者用副読本】
 ●【教師用指導書】(全9冊:単元1~7、サービスラーニング、まとめ)

2日間の集中研修で指導力を身につける

実際の教材や手法を体験し、実践準備



ワークショップの特徴

- 1 学級を模し、生徒役と指導者役の双方を体験する
- 2 活動を通してプログラムを理解する
- 3 参加者が知恵や経験を持ち寄り、活動する
- 4 教育現場でプログラムをどのように活用できるか探る

必ず受講してください!

すべての指導者は、必ずワークショップを受講してください。ワークショップを修了した方のみ、教材をお渡ししています。

ワークショップの形式

〈校内型〉学校の全教員参加で実施。
〈公募型〉さまざまな学校の先生や保護者などが参加して実施。

ワークショップの主な流れ(予定)

- [1日目] 午前／高め合い伸ばし合う学級づくり
午後／危険行動防止について考える
[2日目] 午前／参加者による模擬授業・準備
午後／参加者による模擬授業・発表

申込・参加費

〈参加費〉一人12,000円(教材費・昼食費込)
年間を通して全国各地で実施しています。
お近くのライオンズクラブまたはJIYDまでお問い合わせください。

教員間の共通理解

全教員でワークショップを受講したことで、教員間の距離が近くなった。



授業を見学し合い、気づいた点を共有することで、「一緒に作り上げていく」という連携が高まった。

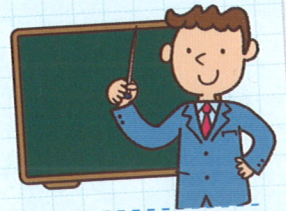
1つのものに一丸となって取り組み、同僚意識が高まった。

柱となる系統だったプログラムがあることで、教員間の共通理解が持てた。

みんなで協力して時間をかけて行うことで、研究も活発になり、楽しくやりがいを感じている。

指導力向上

生徒指導が、「○○しなさい」ではなく、生徒自身の気づきを大事にするようになった。



生徒の動かし方、授業展開、視覚的な訴え方などは日頃の教科指導でも活かされた。

多面的に生徒を見る姿勢やライフスキルを使って生徒と接するようになった。指導方法の引き出しが増えた。

自分自身の授業方法を見直すきっかけになっている。活動しながら学ぶ方法、ブレインストーミング、役割分担などを参考にした。

生徒に対して叱るばかりではなく、自尊心を高めていくという姿勢になった。

子どものタイプ(見て学ぶ、聞いて学ぶ、やって学ぶ)に合わせることや、授業展開の方法は、他の教科指導でも役に立った。

学級の変化

相手を認める姿勢が身についてきた。相手はどう考えているかなど、人の話を聞けるようになり、さらに人と違って自分の意見を言うようになり、周囲もそれを温かく認められる雰囲気になった。



さまざまな見方、視点を変えることの大切さ、他人の意見を聞くことの大切さを感じるだけでなく、そこから新しい価値観に変えていき、自分の納得した考えを自分で持つことができるようになった。

集団の中で自分を認めてもらうことが気持ちいいと感じたり、以前は恥ずかしくてグループ活動もできなかったが、グループ活動が活発になった。

認め合う集団になった。お互いの良いところを発見し、盛り上がりつつある場面が見られるようになった。輪になじめない子がいても周りが引っ張り、帰属意識が芽生えてきた。

生徒の感想

ゲームやグループ活動によって、楽しんで活動するうちに、いつの間にか、みんなと仲良くなることができました。また、自分の知らなかった社会のルールについてもわかるようになったと思います。(中学校1年生)



ライフスキルの授業をいつも楽しみにしています。普段は決して話さないような人と一緒に活動したり、仲のいい友達の知らなかった一面に気づいたりするからです。「悪い誘いの断り方」を考える活動では、話し方や態度を工夫するのがよいとわかりました。(中学校1年生)

ライフスキルの授業で、相手に自分の意志を伝えることの大切さを学びました。いろいろな活動を通して、自分自身の心にどうやって向き合えばよいかを学ぶことができました。また、友達やクラスメートと活動していく中で、友達に自分が思っていることを素直に伝えることの必要性を感じることができました。(中学校3年生)

伝えてください あなたのそばにいる子どもたちへ

ライオンズクエストプログラムの生い立ち

素晴らしいことを教えてくれるプログラムはたくさんある。
しかし、失敗・挫折・困難に直面したとき、
どのように切り抜け、立ち直っていくかを教えてくれるプログラムはなかった。

1975

アメリカの青年リック・リトルが「人生で直面する困難にどのように対処すればよいか、誰も教えてくれなかった」という思いから、困難を乗り越え、よりよく生きる力を包括的に学べるプログラムの開発を開始。クエスト財団(後のクエストインターナショナル)を創立しました。

1984

ライオンズクラブ国際協会(LCI)がクエストインターナショナルのパートナーとして、プログラムの普及活動への協力、支援を開始。普及活動に携わったライオンズクラブ国際協会とクエストインターナショナルが“ライオンズクエスト”の名前の由来です。

2002

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)が組織をあげて普及活動を行うため、クエストインターナショナルから著作権を取得。2014年現在、36ヶ国語に翻訳され、世界85の国と地域で普及活動が実施されています。

日本における本プログラムは、ライオンズクラブ国際財団、アルカテル・ルーセントの支援のもと、ライオンズクラブ国際協会330複合地区、330-B/C地区と特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラム(JIYD)のパートナーシップで開発されたものです。ライオンズクラブ国際財団が著作権を所有し、日本においてはJIYDがプログラム実施団体として指定されています。普及活動は、全国のライオンズクラブ国際協会の皆様と協同で実施しています。

ライオンズクラブ国際協会は、200を超える国と地域に広がる世界最大の奉仕クラブ組織です。「われわれは奉仕する(We Serve)」をモットーに、視力保護、環境保護、飢餓対策、青少年育成など、多様な地域事業の奉仕活動を行っています。



Lions Clubs International
FOUNDATION



Alcatel-Lucent 



特定非営利活動法人
青少年育成支援フォーラム
JIYD **Japan Initiative for Youth Development**

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-63-302
TEL:03-3440-4486 FAX:03-3440-4447
E-mail:info@jiyd.org URL:http://www.jiyd.org

LIONS QUEST ライフスキル教育プログラム ウェブサイト : <http://www.jiyd.org/lionsquest/>